

校内支援体制の整備・充実に向けた校長の役割

～第1回管理職のための特別支援教育に関する研修会～

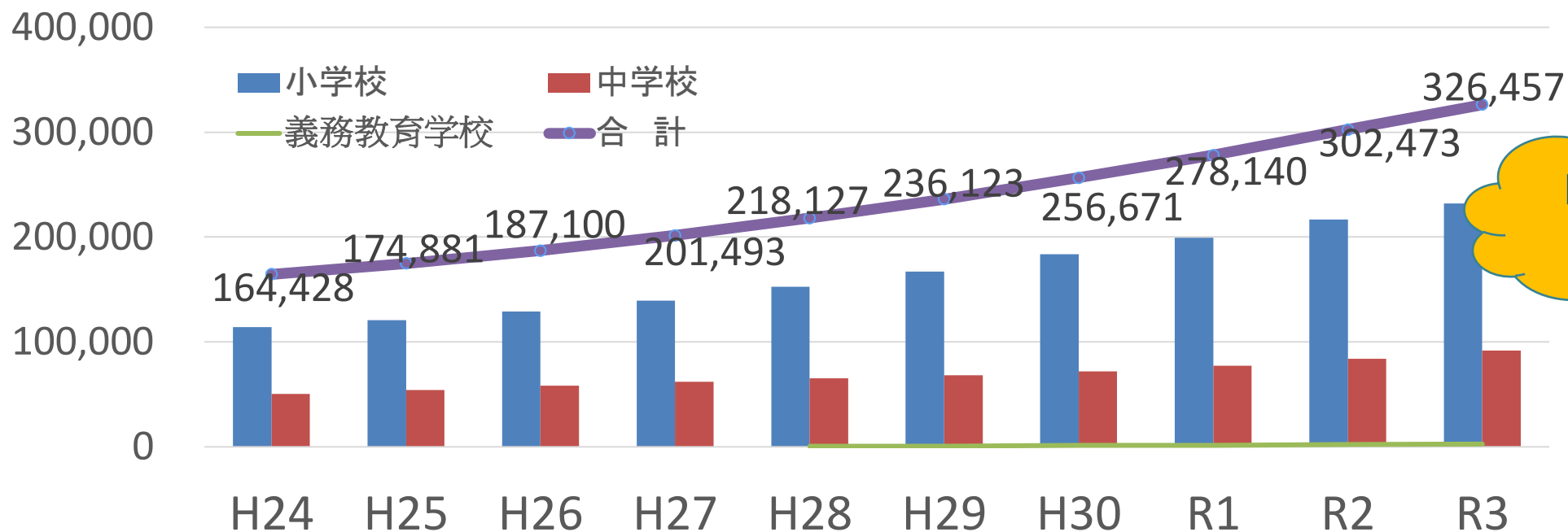
2024年6月12日

全日本特別支援教育研究連盟研究部長
(前東京都調布市立飛田給小学校長)
山中ともえ

- 1 全国の特別支援教育の現状
- 2 校内の支援体制の確立
- 3 指導や配慮の工夫と継続
- 4 個別最適化に向けたICTの活用
- 5 通級による指導の活用
- 6 特別支援学級の教育の充実
- 7 その他

1 全国の特別支援教育の現状

～特別支援学級の児童生徒の推移(学校基本調査より)～



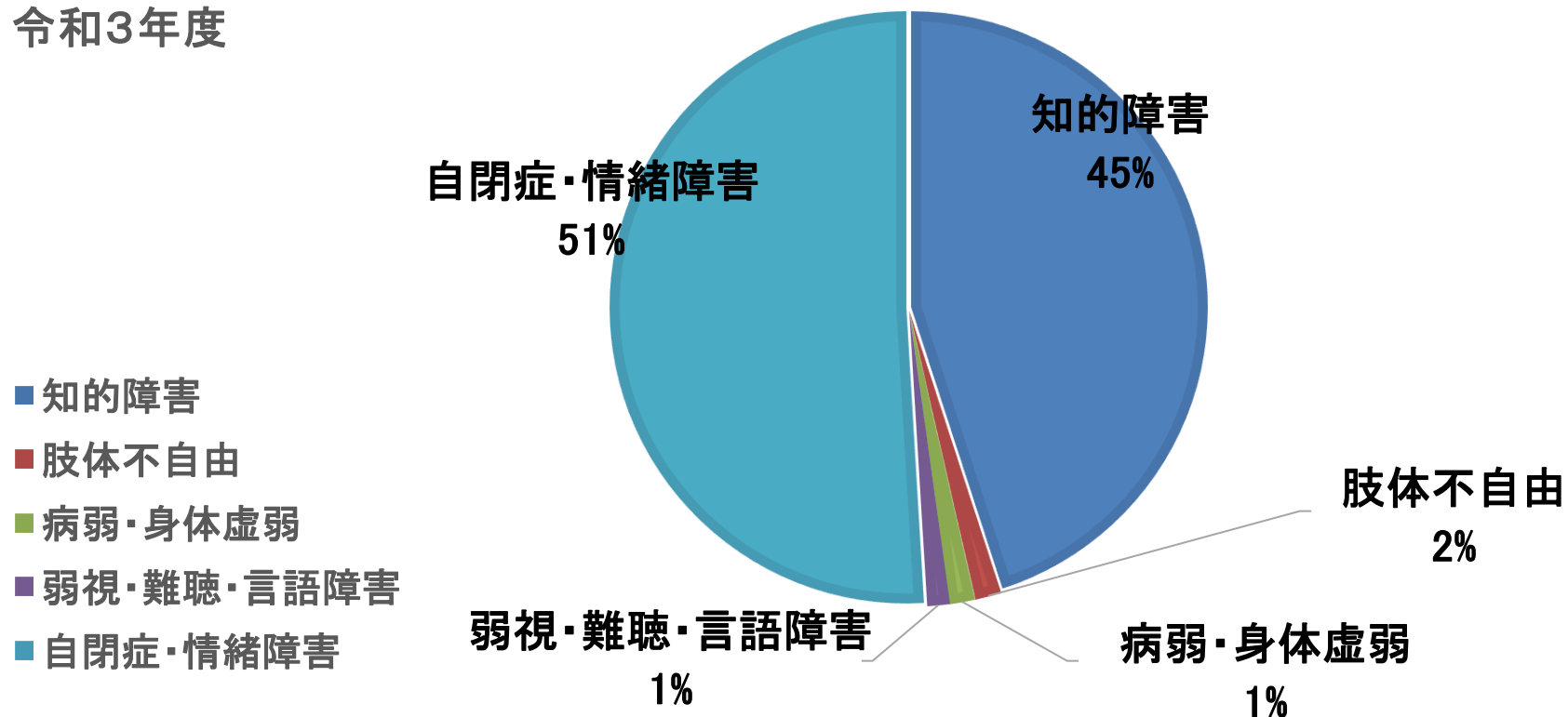
自地区の把握

| R3年度 | 知的障害 | 肢体不自由 | 病弱・ 身体虚弱 | 弱視 | 難聴 | 言語障害 | 自閉症・ 情緒障害 | 計 |
|------|---------|-------|-------------|-----|-------|-------|--------------|---------|
| 学級数 | 32,432 | 3,159 | 2,968 | 558 | 1,401 | 687 | 35,515 | 76,720 |
| 在籍者数 | 156,661 | 4,539 | 4,706 | 638 | 1,945 | 1,331 | 183,618 | 353,438 |

1 全国の特別支援教育の現状

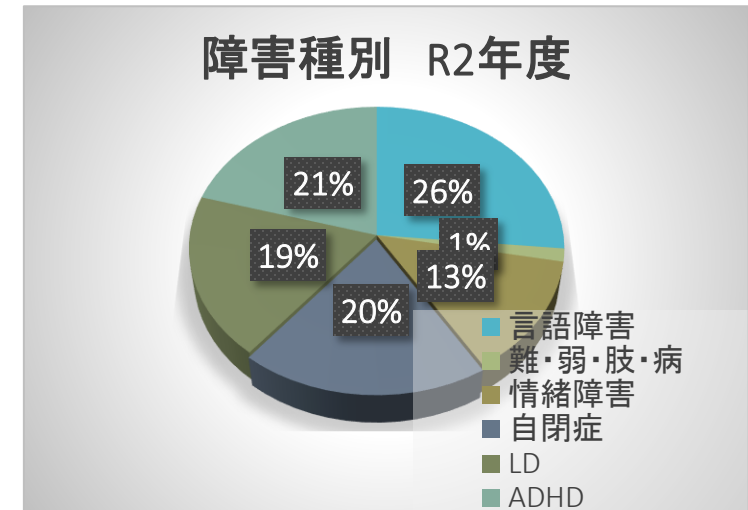
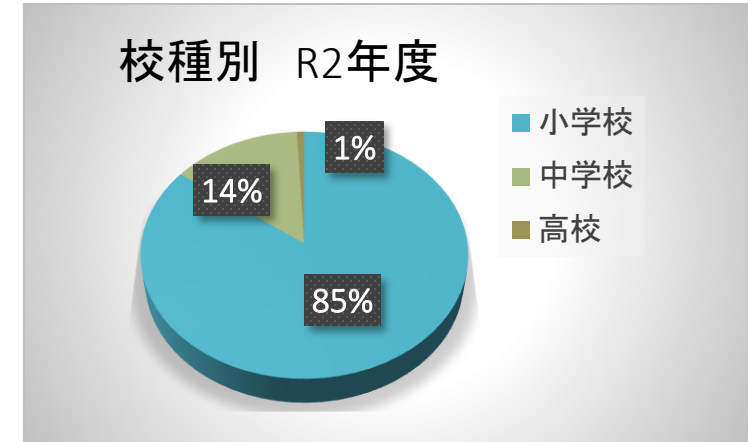
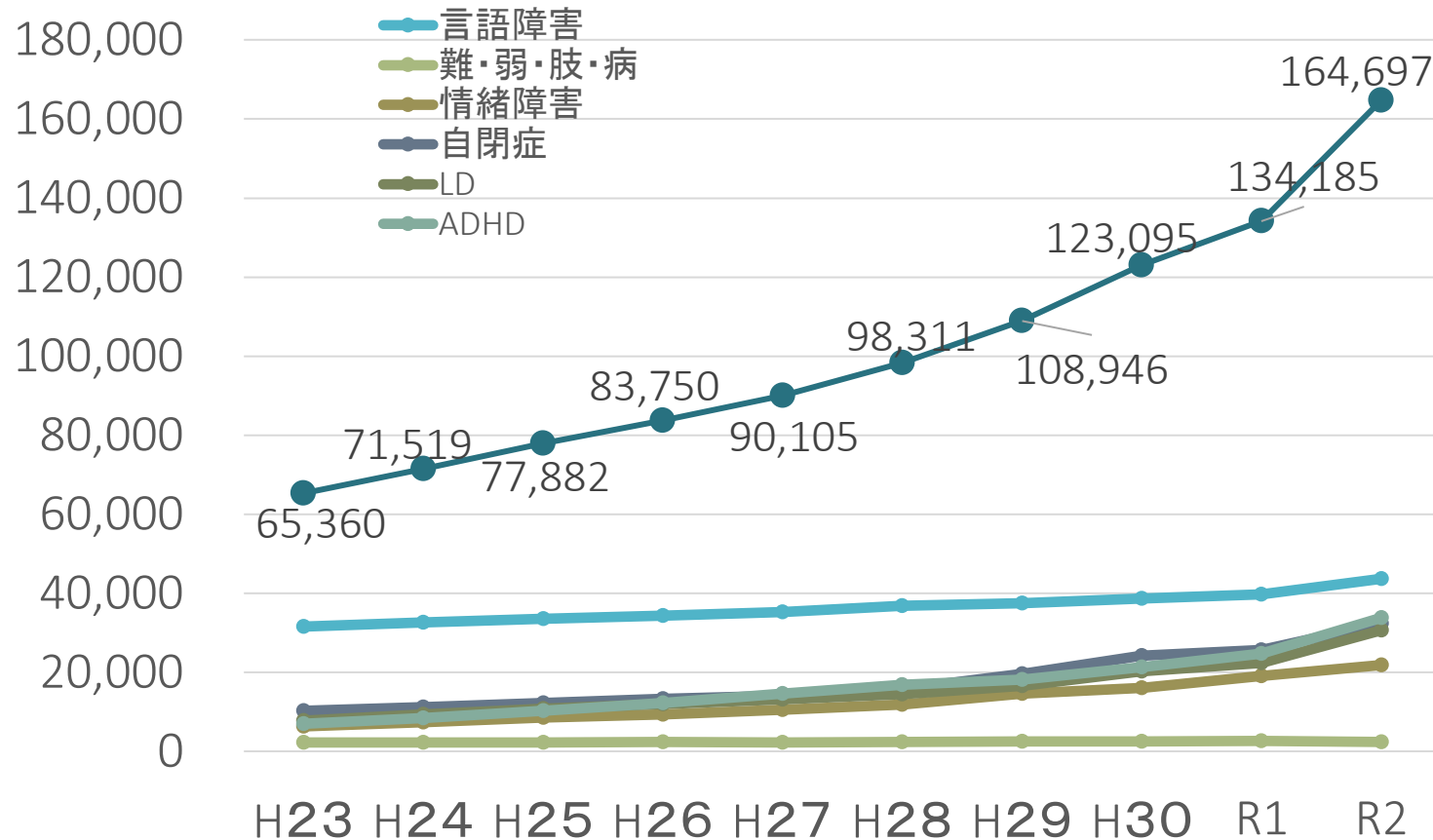
～特別支援学級児童生徒の障害種割合(学校基本調査より)～

令和3年度

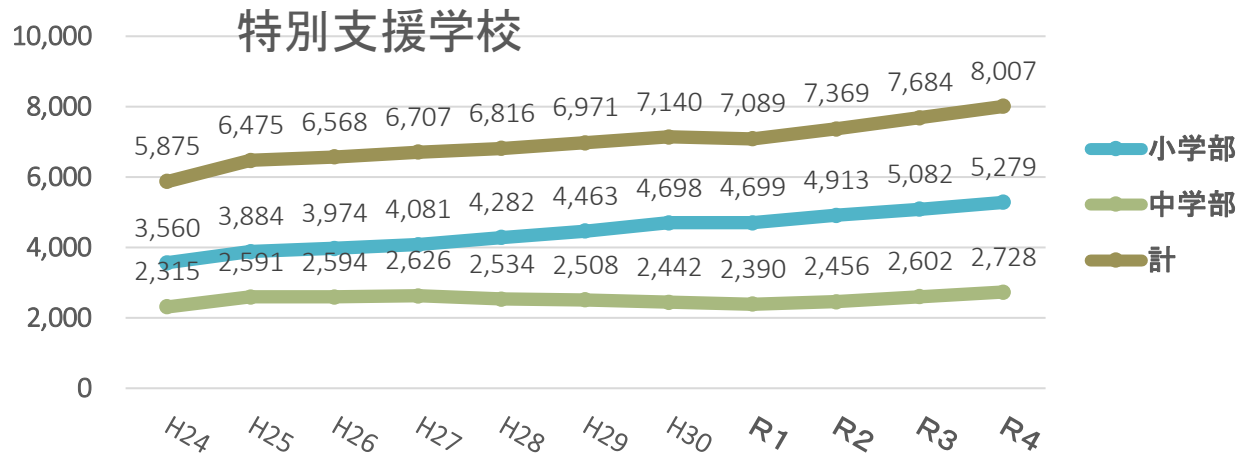
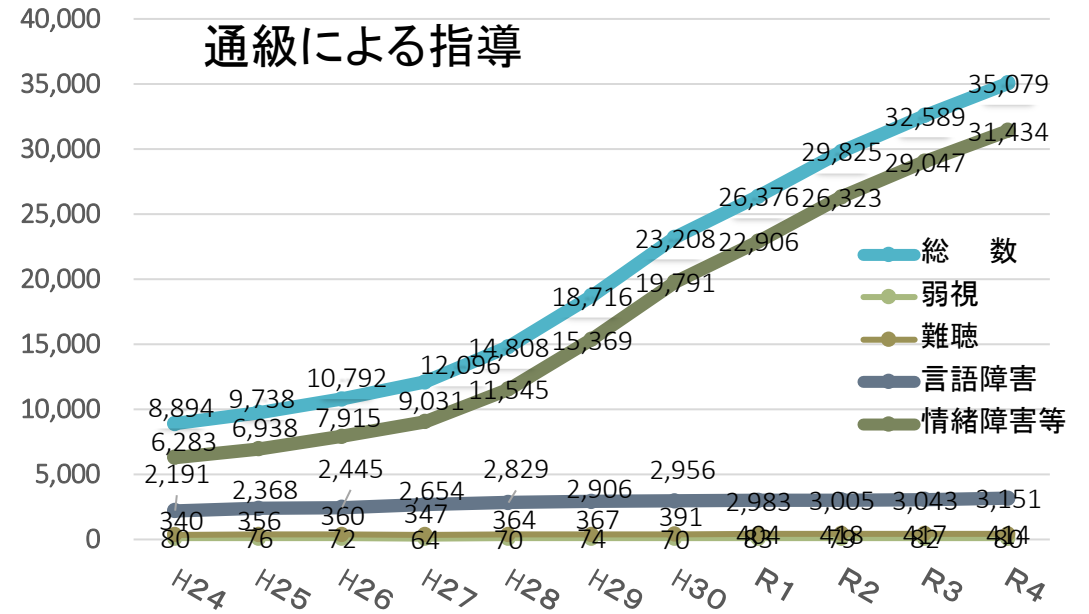
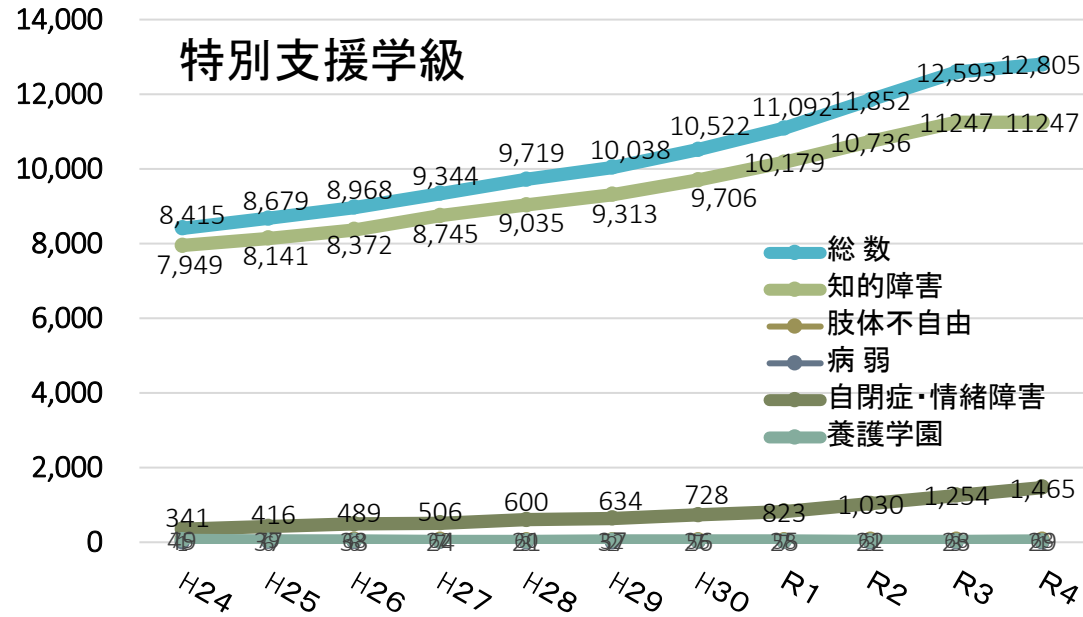


1 全国の特別支援教育の現状

～通級による指導を受ける児童生徒の推移(学校基本調査より)～



東京都の場合



特別支援教育を受ける児童生徒の割合 (義務教育段階)

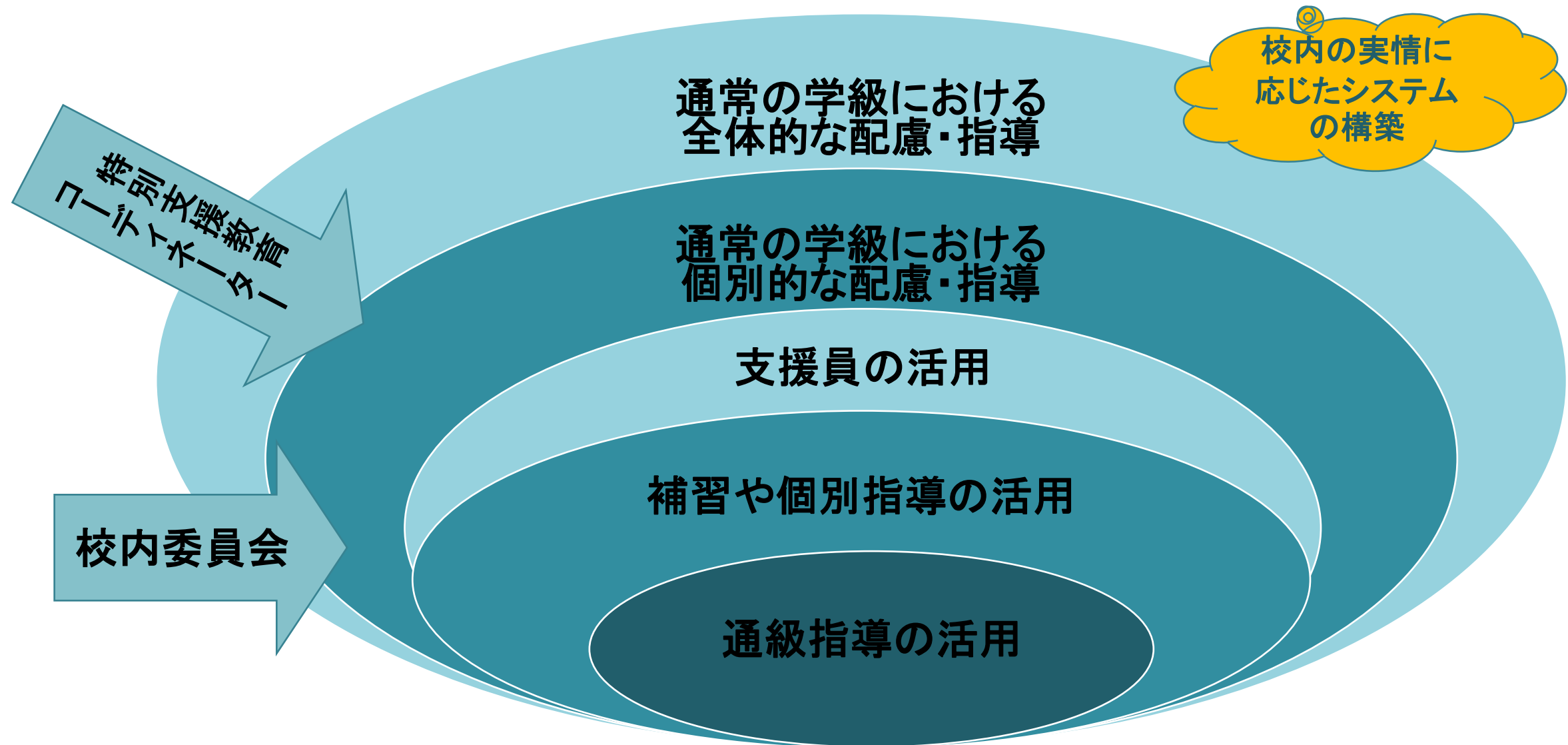
全国 令和4年度

| | | |
|---------|------|--------------------|
| 特別支援学校 | 0.9% | } 6.5% (10年前の2.0倍) |
| 特別支援学級 | 3.7% | |
| 通級による指導 | 1.9% | |

東京都 令和4年度

| | | |
|-----------|------|--------------------|
| ▶ 特別支援学校 | 1.0% | } 6.7% (10年前の1.5倍) |
| ▶ 特別支援学級 | 1.5% | |
| ▶ 通級による指導 | 4.2% | |

2 校内支援体制の確立



(1) 特別支援教育部の役割分担の例



役割分担の
明確化

| 分 担 | |
|-------------------------|--|
| 学校全体の特別支援教育の推進 | |
| 児童実態把握・校内委員会(ケース会議)調整 | |
| 特別支援教育関係校内研修会企画・運営 | |
| 巡回相談調整、外部関係機関との連携 | |
| 個別の教育支援計画・個別の指導計画管理 | |
| 合理的配慮の検討 | |
| 学習支援体制(企画・連絡調整・支援員配置)調整 | |
| 通級指導教室入級・退級関係 | |
| 特別支援学校・特別支援学級との交流調整 | |
| 校内環境調整 | |
| 市内特別支援教育関係委員会 | |

(2) 特別支援教育コーディネーターの業務の例



| 月 | 内 容 |
|-----|--|
| 4 | <ul style="list-style-type: none">・児童の実態の把握、支援や指導の検討・配慮を要する児童一覧表作成・個別の教育支援計画・個別の指導計画作成(2～6年)・新1年生の実態把握・支援員の体制作り、補習・個別指導時間割作成 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none">・個別の教育支援計画・個別の指導計画作成(1年)・補習教室開始・新1年生の巡回相談 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none">・個別の教育支援計画・個別の指導計画について内容確認・巡回相談 |
| 7、8 | <ul style="list-style-type: none">・保護者面談、1学期の評価、2学期の計画・保護者面談の結果把握・支援員の体制見直し・個別指導・補習教室の対象児童の見直し・特別支援教育研修会開催 |

(3) 校内のサポート体制の活用

～支援員の活用～

現在の学校には、
様々な人が配置されるようになりました。
それらの人の効果的な役割分担ができていますか。

支援員



▶ スクールカウンセラー



▶ ボランティア



(4) 子供の力を補う場の活用

～支援員の活用～

保護者や外部の人の力を借りたり、すきま時間を見つけて少し時間を作りましょう

▶ 算数少人数



学習支援(読み書き)



▶ 補習



(5) 関係機関との連携

地域内にある様々な
機関を知り、連携を図
りましょう

教育相談所

特別支援学校

学校

医療機関

放課後等
デイサービス

巡回相談員

スクール
カウンセラー

児童相談所

通級指導

子ども家庭支援
センター

個別の
支援計画



3 指導や配慮の工夫と継続

校内でアイデアを出し合い、教材を共有していますか

(1) 分かりやすい授業

～全体的な配慮・指導～

▶ ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業づくりの例

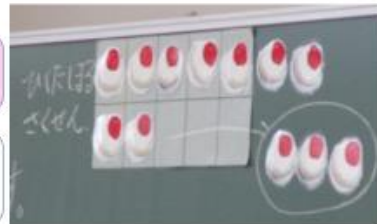


- ① 板書のパターン化
- ② 色づかいの工夫

授業の流れが分かり、見やすくなるように

③ 視覚的な教材の活用

学習内容をイメージしやすいように



聴覚や運動感覚的支援の工夫



集中を持続する工夫

多様な学習活動の工夫

発問・指示の見直し

この授業、どこまで頑張ればいいのか。

1時間の授業の予定を示す。

結論から話をする。

いくつ話をするかを始めに伝える。

児童が活動の見通しをもつことができる。

(2) 個別の指導や手立ての工夫 ～個別적인配慮・指導～

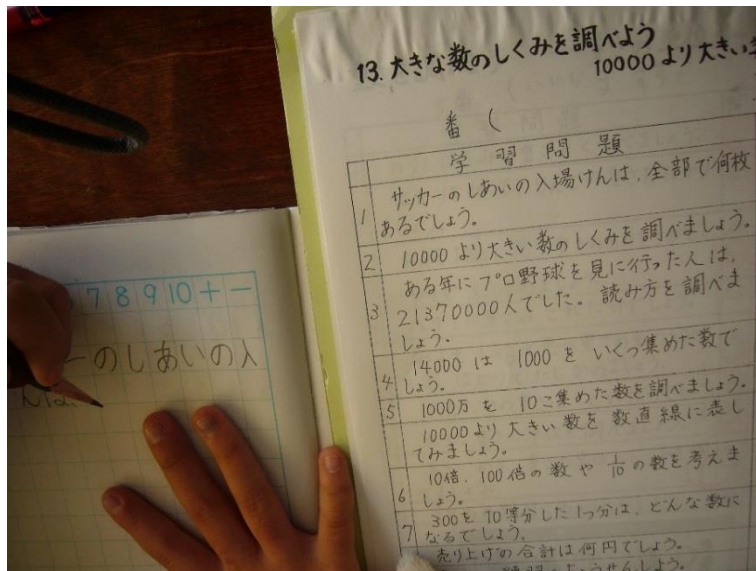
本人や保護者と確認しながら個別の配慮や指導を考えていますか



個別指導

▶ 教材の工夫

▶ 個に応じた配慮



(3) 合理的配慮の提供

～個別적인配慮・指導～

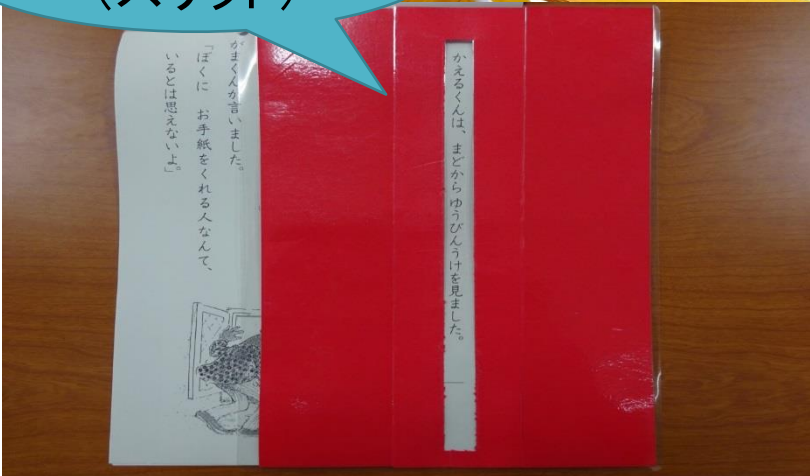
本人や保護者と確認したことを、個別の教育支援計画に記入し、次の学年に継続していますか

タブレットの使用

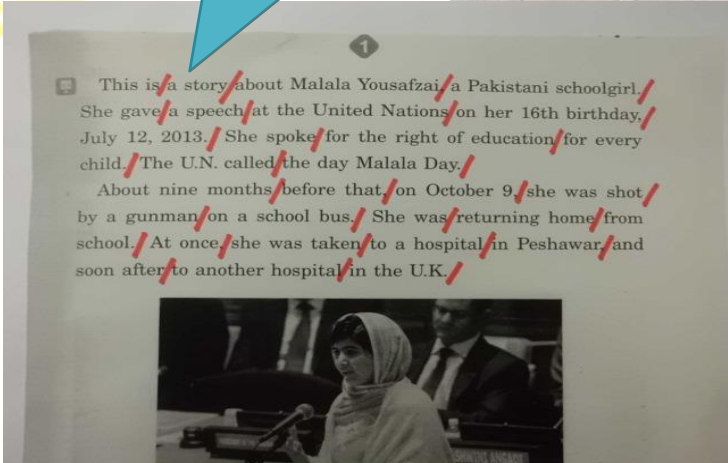


机・椅子の雑音の軽減

1行ものさし (スリット)



スラッシュ記入



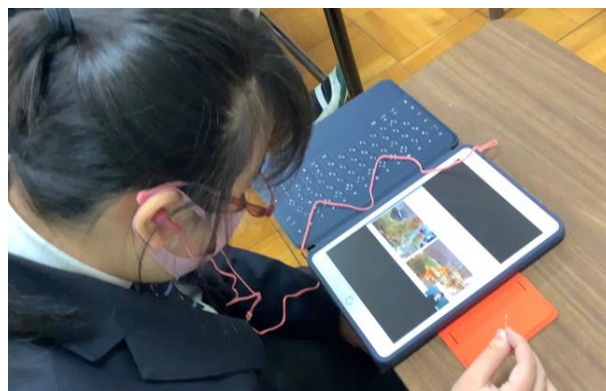
体幹を支える椅子



4 個別最適化に向けたICT機器の活用

～ 個別的な配慮・指導～

書くことや、記憶しておくことが苦手な子の使い方を工夫していますか



5 通級による指導の活用

～通級指導～

通級指導を理解するとともに、通級担当者と効率的な連携を図りましょう

▶ 小集団指導

▶ 個別指導



(1) 通級指導のカリキュラム・マネジメント

◆ 教科横断的な視点

- ・ 自立活動の内容
- ・ 障害の特性を把握した個別の指導計画の作成

◆ PDCAサイクル

- ・ 個別の指導計画の作成・評価の在り方
- ・ 在籍学級、保護者との連携

◆ 人的・物的資源の活用

- ・ 関係専門機関の把握と連携
- ・ 基礎的環境整備の把握と充実

6 特別支援学級の教育の充実

特別支援学校の学習
指導要領をよく理解し
ておくことが大切です



(1) 特別支援学級のカリキュラム・マネジメント

◆ 教科横断的な視点

- ・教科指導の関連、教科等を合わせた指導
- ・学年や障害の状態を考慮した年間計画

◆ PDCAサイクル

- ・保護者にも伝わりやすい評価の在り方
- ・観点別評価の視点

◆ 人的・物的資源の活用

- ・地域や外部資源の把握と活用
- ・通常の学級との交流及び共同学習の拡充

(2) 交流及び共同学習の充実

インターシップ教育
システムに向けて、ま
すます交流及び共同
学習は大切です



7 その他

(1)働き方改革の視点

◆ 校内支援体制の見直し

- ・個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成・活用・保管
- ・支援員等の役割分担
- ・特別支援学級や通級による指導担当教員の配置
- ・実態把握の方法等

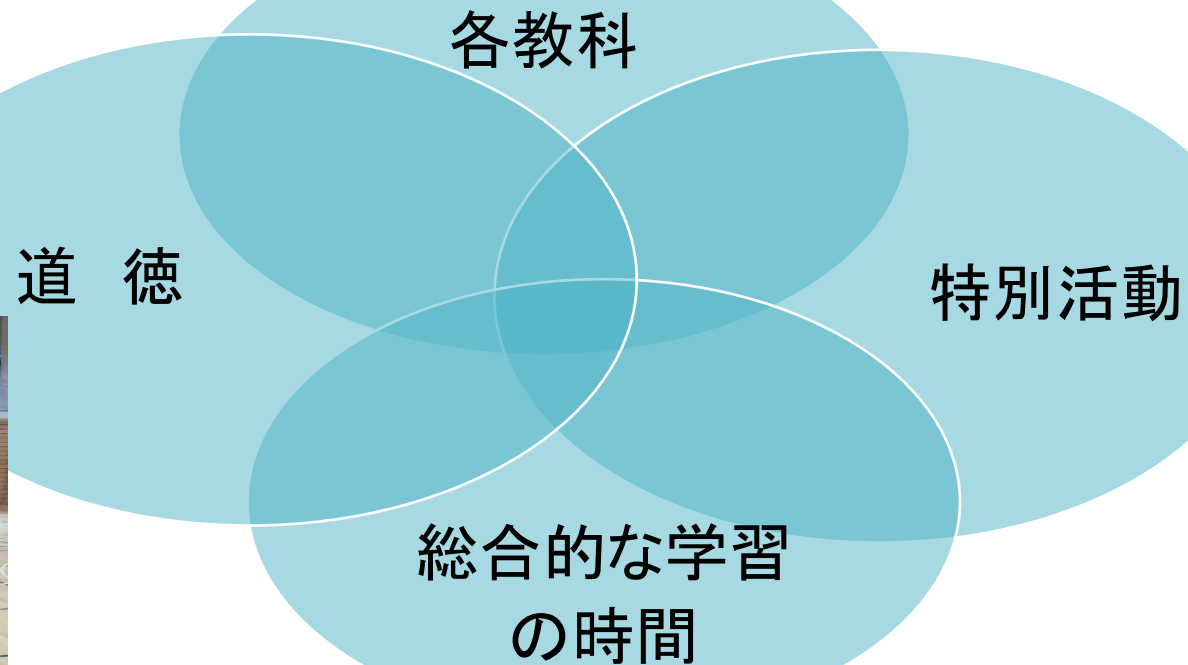
◆ 関係機関との連携

- ・連携の内容・方法

◆ 校務のICT化

(2) 周囲の理解推進

共生社会への鍵



(3) 障害者理解教育の全体計画の例

| 学年 | 重点 | 内容 生活科 総合的な学習の時間 | パラスポーツ体験 |
|----|-------|---|---|
| 1年 | 自己理解 | <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 自分の得意, 不得意 学校探検 (2年生との交流) ふれあい交流会 (祖父母との交流) | ボッチャ |
| 2年 | 他者理解 | <ul style="list-style-type: none"> 友達のよいところ 学校探検 (1年生との交流) 地域めぐり | ボッチャ |
| 3年 | 地域 | <ul style="list-style-type: none"> わたしたちの飛田給(地域) ゲストティーチャーによる講話 (おはやし, 消防団, 宮ノ下図書館) 副籍交流 | 車いすラグビー(R元年度) 車いすバスケットボール(R2年度) |
| 4年 | 福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者 (認知症サポーター講座) 視覚障害 (点字体験) 聴覚障害 (手話体験) 肢体不自由 (車いす体験) ユニバーサルデザインの町作り | 車いすラグビー/パラ卓球(R元年度) 車いすバスケットボール(R2年度) |
| 5年 | 福祉と環境 | <ul style="list-style-type: none"> 知的障害 (わかば事業所との交流) 障害のある人を取り巻く環境 | 車いすラグビー(R元年度) パラ陸上(R2年度) |
| 6年 | 国際理解 | <ul style="list-style-type: none"> 留学生との交流 日本の紹介 | 車いすラグビー(R元年度) パラ陸上(R2年度) |

(4) 障害者理解教育 年間計画の例 ～第4学年～

| | 1 学期 | 2 学期 | 3 学期 |
|-------------|---|---|--|
| 総合 | 長生きしてね ：高齢者について理解し、自分にできることを考える。 | 障害ってなんだろう ：聴覚障害、視覚障害、肢体不自由について知り、体験活動や交流活動を通して、それらの理解を深める。 | みんな幸せ飛田給 ：ユニバーサルデザインの視点をもとに、これからの町づくりや自分たちにできることについて考える。 |
| 教科 | 国語 ：「メモの取り方を工夫して聞こう」話し手が伝えたいことの本質を捉え、自分の考えをもつ。 社会 ：「住みよいくらしをつくる」地域の人々の協力と工夫の在り方について理解を深め、地域の一員として自分にできることを考える。 | 国語 ：「一つの花」登場人物の生き方や考え方の行動などを自分と比べる。 国語 ：「新スポーツを考えよう」互いの意見の共通点や相違点に着目して話し合い、他者理解を深める。 理科 ：「わたしたちの体と運動」 | 国語 ：「身の回りの便利なものを考えよう」道具や設備を通して、社会ではたくさんの人がそれぞれ違った立場で暮らしていることを理解し、「便利」について考える。 社会 ：「世界とつながる大田区」都民の一人として地域の外国人と共に生活していくために自分たちができることを考える。 |
| | 体育 ：自己の課題を見付け、友達に伝える。誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたりする。 外国語活動 ：言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 | | |
| 道徳 | 世界に一つだけの花 ：自分の長所を伸ばしていこうとする。 思いやりって ：相手の気持ちを察し、行動しようとする。 ひとりぼっちのYちゃん ：誰に対しても公平に接しようとする。 学級会での出来事 ：一人一人、考え方が違うことに気付き、それぞれの考えを大切にしようとする。 | ちょっと待ってよ ：誰に対しても分け隔てなく行動しようとする。 見えない障害に気付くこと ：見た目には分かりにくくても困っている人がいることを知り、相手の立場や状況を想像して接しようとする。 わたしの大切なもの ：自国と他国の文化の共通点や相違点を理解、尊重しようとする。 より遠くへ ：パラリンピックに出場した谷さんの生き方を通して、目標に向かって粘り強く取り組もうとする。 | みんなちがってみんないい ：自分らしさとは何か、それを生かすためにできることは何かを考える。 |
| 特別活動 | 学級活動・児童会活動(代表委員会)・クラブ活動・縦割り活動・学校行事 ：各活動を通して、自分の得意なことを伸ばしたり、苦手なことを克服したりしながら自己理解を深めるとともに、友達や他学年との関わりを通して他者理解・相互理解を深める。 | | |

(5) 教員研修の充実

専門性向上
は必須

特別支援学級や通級指導担当教諭の研修
通常の学級の教員の研修



- * 都道府県教育委員会主催
- * 市町村教育委員会主催
- * 各学校の校内研修
- * 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
- * 独立行政法人国立リハビリテーションセンター 等



全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会発行



東洋館出版社

1人1台」 端末で 特別支援教育 が変わる!

すぐに取り組み、役立つアイデア123



青木高光 監修
全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会 編著



東洋館
出版社

質問等がありましたら・・・

yamayt@jcom.zaq.ne.jp